

参考文献

- 1) 磯野昌弘 (1981) 但馬地方西部のカミキリムシ. IRATSUME 5: 28-35
- 2) 加野 正 (1982) 但馬におけるカミキリムシ採集目録. IRATSUME 6: 36-41
- 3) 清沢晴親ら (1981) 図説長野県のカミキリムシ. 日本民俗資料館 東京法令出版 長野
- 4) 黒田 収 (1982) 氷の山周辺のカミキリむし分布調査. てんとうむし 8: 153-166
- 5) 小島圭三・林匡夫 (1969) 原色日本昆虫生態図鑑 I カミキリムシ編 保育社 大阪
- 6) 高橋 匡 (1980) 但馬地方昆虫目録 (予報第3報) IRATSUME 4: 13-27
- 7) 林匡夫・森本桂・木元新作 (1984) 原色日本甲虫図鑑 IV 保育社 大阪

美原高原でキマダラルリツバメを採集

黒井和之

1983年7月2日の午前9時から正午にかけて、美原高原（美方町）でキマダラルリツバメ *Spindasis takanonis* Matsumura 2♂♂を採集しているので報告する。当日は曇り時々小雨の天気、前夜からの雨で草木が濡れていた。採集地は斜面状で、上部にカシワの純林、その下にマツ（クロマツ）の大木、コナラ、クヌギ、カシワなどが生え、小さいながらススキが混じる草原がひろがっており、春から夏にかけて牛の放牧がされている。

1頭目は竿で木を叩くと、なんとも弱々しく飛び立ち、10mくらい離れたコナラの木に止まったところを採集したものである。2頭目はカシワの葉上で休息中の個体を採集した。強風が吹くなか、翅を閉じたまま動こうとしなかった。

美原高原は、文献のなかで山本広一氏がキマダラルリツバメ良好生息地と記されているが、近年の採集報告は聞かない。

参考文献

- 環境庁, 1980. 第2回自然環境保全基礎調査 (昆虫類) 近畿版
足立義弘, 1980. 金山峠のキマダラルリツバメ IRATSUME(4): 65-68